

# すわみつえ通信

No.111 2020年2月17日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

地域防災について  
自治会の皆さんと学ぶ

主催の地区懇談会が2月15日(土)に市民センターで開催されました。赤見台地域の自治会長、民生委員、福祉見守り員の方々が参加されるところに、地域の市会議員として、市ノ川徳宏議員とすみつえ議員が招かれ参加しました。

第一部は、防災セミナー！地域防災について「災害時における市からの情報伝達方法など」を鴻巣市役所危機管理課が講演しました。

昨年の台風19号時の防災アナウンスで「中止道」と表現していたが正しくは「途中止道」ではないか。どうう指摘や



赤見台支部社協「地区懇談会」に41名が参加  
=2月15日(土)午前 市民センター会議室

鴻巣市社会福祉協議会・赤見台支部  
主催の地区懇談会が2月15日(土)に市民センターで開催されました。赤見台地域の自治会長、民生委員、福祉見守り員の方々が参加されるところに、地域の市会議員として、市ノ川徳宏議員とすみつえ議員が招かれ参加しました。

第一部は、防災セミナー！地域防災について「災害時における市からの情報伝達方法など」を鴻巣市役所危機管理課が講演しました。

各自治会からは、食事会を毎月開催している様子や毎週の体操クラス、お茶の実サロン、見守り活動など、特



北新宿生涯学習センター・  
児童センター落成式に参加

北新宿区画整理地内で2月18日オープンする北新宿生涯学習センター・児童センターの落成式に臨席しました。多くの市民の方の利用が待たれるゆったりとした空間です。



## 自治会の活動から

第一部として、「赤見台支部社協と自治会の協力体制の構築」をテーマに交流しました。赤見台の人口推移から高齢化率までの豊富なデータとともに、市が行つた「地域福祉アンケートへの回答などから、赤見台地域が置かれている高齢化の進行状況を確認しました。

また、避難所の運営は市の職員ではなく自治会が「避難所委員会」を開いて自主的に運営をする」とが「鴻巣市地域防災計画」に明記されていますが説明されました。

「市民センター」の避難所としての位置付けの質問がありました。市民センターは「福祉避難所」となっていますが、小学校のように指定避難所として最初に開設する」とが検討課題となりました。

時じじても重要なつながりが災害です。日常的な顔の見える繋がりをどのようにしていくかを今回の地区懇談会で語り合いました。

「新日本婦人の会」と  
学校訪問を開始

市内小中学校の卒業・入学の時期となりました。この時期は「新日本婦人の会」とともに学校を訪問して学校長との懇談を行っています。

「内心の自由」を立場から、式典での「日の丸掲揚」と「君が代」斉唱の強制をしないことを求めています。

また、学校からの要望も伺い、対市交渉を行なながら要請活動に発展させきました。長年の活動で「アーフン設置や子ども医療費無料化、就学前の就学援助金支給などを実現してきました。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

本格的な花粉の飛散が始まりました。今年は関東をはじめ、平年よりも早い地域が多い。めぐってきたつらい時期。そのうえマスクが足りないなんて…▼新型肺炎の国内感染が広がっています。各地で認められ、国内初の死者や院内感染の疑いも。専門医が「局面が変わった」と呼びかけるなど、いかに感染を防ぎ、検査や治療態勢を早急に確立するか。水際中心からの転換が求められます▼「いま一番、世界中が心配しているのが日本」。WHO（世界保健機関）の専門家がそう指摘するように、クルーズ船への対応をふくめ、政府の対策に不安や不信の声が上がっています▼共産党が緊急対策を申し入れたように、いま必要なのは野党の意見にも真剣に耳を傾け、あらゆる力を結集して事に当たることです。己の保身や東京五輪への影響を恐れて、手をこまねき、後手に回る。そんな事態を招いてはなりません▼感染を拡大させないためには、症状が出たら仕事を休むことが肝要です。感染したタクシー運転手や屋形船のアルバイトはともに70代でした。仕事が休めない、高齢になっても働かなければならぬ。そういう社会の根強い風潮やあり方を見直さなければ▼いま1年前の国会質問が話題になっています。国立感染症研究所の定員や予算を削りつけ、体制を弱めてきた政府の姿勢を追及した田村智子議員。国民の生命や健康への重大な脅威となるとして、こう警告していました。

「感染症対策は、国の安全保障政策そのものではないか」

## JCP MOVIE

[YouTube](#)

ぜひご覧ください！

検事長の定年延長問題 首相が法を“私物化” 2020.2.14

田村政策委員長会見 新型肺炎緊急対策、首相の反共デマ発言を批判



QRコード（日本共産党HP）



憲法改悪許さない！憲法をいかし、まともな政治を取り戻そう！  
誰もが、8時間働けば、人間らしく暮らせる賃金を！

2020年

# 2・26鴻巣地域総行動



★日 時：2月26日（水）18:30 集会開会

★会 場：鴻巣市市民活動センター 会議室B  
(鴻巣市本町1-2-1 エルミコウのすアネックス3階)

★内 容：室内集会と駅頭宣伝

★その他：軽食を準備します。※受付=18:15～  
どなたでも参加できます。

2・26鴻巣地域総行動実行委員会 北本市石戸宿1-217-2(埼玉土建中部支部内) TEL048-593-3381